



市大キャラクター
『ヨッチー』

アジアの大学生と共に都市問題を学ぶ 「YCU 都市課題共通教育プログラム (SUDP) 2015」を開講 ～アジアTOPレベルを誇るアカデミックコンソーシアム 加盟校の学生達と横浜の事例を参考に英語で討論～

横浜市立大学は、都市課題の解決に貢献できるグローバル人材の養成を目指し、アカデミックコンソーシアム加盟校から教員及び学生を招いた集中講義「YCU 都市課題共通教育プログラム(SUDP)2015」を開講します。

講義や討論、グループワークはすべて英語で行われ、環境保全と経済活動を両立した都市の開発、国際協力活動や水資源の保全といったテーマを中心としたプログラムを実施します。フィールドワークでは、鶴見川の事例を中心に住民参加型の環境保全、流域管理、防災等について学びます。受講生は、最終日に学習とグループワークの成果を「アカデミックコンソーシアム 2015 横浜大会」国際学生フォーラム(別添チラシ参照)の場で発表します。

「都市課題共通教育プログラム(SUDP)」は、海外の学生には都市が抱える問題について横浜市や日本の事例を伝えるとともに、本学の学生には異なる文化的背景を持った海外の学生と議論しながら共に学ぶことで、異文化理解力や発信力を身に付けてもらうことを目的として、2012年より開講しており、今回で4年目を迎えます。

【実施概要】

開催日時： 2015年9月7日(月)～11日(金)

講義名称： 特講 (Sustainable Urban Development)

場所： 横浜市立大学金沢八景キャンパス 市大交流プラザ(いちょうの館)多目的ホール

講師： 横浜市立大学グローバル都市協力研究センター 特任教授 井村秀文

マレーシア科学大学人文学部 教授 Ngai Weng Chan (横浜市立大学客員教授)

受講生： 横浜市大及びアカデミックコンソーシアム加盟校等より計20名

(横浜市大、マレーシア科学大学、タマサート大学、フィリピン大学、ベトナム国家大学、JICAプログラムによる留学生(タンザニア、ケニア、エチオピア))

※アカデミックコンソーシアムについては別添参考資料参照



【過去の講義の様子】

プログラム内容：

日時	内容	講師
9/7 (月) 13:00-14:00	オリエンテーション	横浜市立大学 特任教授 井村秀文
9/8 (火) 10:30-16:00	現代都市が抱える諸問題 1. 現代都市が抱える諸問題（成長、環境、まちづくり、公衆衛生、その他）、持続可能性（sustainability）、復元力（resiliency）、都市と地球、世銀 EC02 の理念とアプローチ 2. 人口爆発と都市一途上国都市における環境と開発（エネルギー、水、都市ごみ等）、都市開発と水をめぐる諸問題 3. 演習（受講生参加によるグループワーク） 4. 議論のまとめ グローバルな協力と地域からの取り組み 1. グローバルな協力と地域からの取り組み（Global Partnership and Local Initiatives）、SDGs（Sustainable Development Goals） 2. 地球環境問題に取り組むための資金メカニズム、二国間・多国の資金協力、国際社会のガバナンス、国際機関・政府・企業・市民社会 3. 演習（受講生参加によるグループワーク） 4. 議論のまとめ	横浜市立大学 特任教授 井村秀文 及び マレーシア科学 大学人文学部 教授 Ngai Weng Chan
9/9 (水) 09:00-17:00	フィールドワーク：水資源管理、河川をめぐる環境問題と防災等 （訪問予定先） 1. NPO 法人鶴見川流域ネットワーク（TR ネット）および 国土交通省関東整備局鶴見川流域センター 2. 国土交通省関東整備局京浜河川事務所 3. 横浜市環境創造局 神奈川水再生センター	
9/10 (木) 10:30-16:00	グループ討議 ※	
9/11 (金) 午後	グループ発表（会場：横浜市開港記念会館） 1. IACSC2015 横浜「国際学生フォーラム」でのグループ発表 2. まとめ 修了証授与式	

※グループ討議テーマ（予定）

- ① 都市とエネルギー・・・都市活動を支えるエネルギー（電力・ガスの供給と消費、地球温暖化対策、交通、住宅、工場。ライフスタイル。再生可能エネルギー・太陽光・メガソーラー（川崎市）、エコカー（日産））
- ② 都市と水資源・・・都市活動を支える水資源、その供給と消費、循環利用などについて考える（鶴見川の河川環境管理、上水道、下水道、防災・洪水防止など）
- ③ 都市と資源、廃棄物、リサイクル・・・都市活動を支えるさまざまな資源のメタボリズム（生産、消費、廃棄のライフサイクル。家電・食品・自動車。リサイクル。ライフスタイル。循環型社会）
- ④ 都市と自然生態系・・・都市内の生態系サービス（緑、景観、食糧生産の視点から、公園とか、都市内の農地（生産緑地））

参考資料

【アカデミック コンソーシアム(IACSC)について】

横浜市立大学は、都市問題の解決を、学術的な立場からサポートするために、2009年CITYNET（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）横浜大会への参画を契機に、国際学術ネットワークであるアカデミックコンソーシアム（英文名称：International Academic Consortium for Sustainable Cities: IACSC）を創設しました。主にアジアの都市と都市にある大学、ならびに世界銀行やJICAをはじめとした国際機関等と協働し、都市の抱える課題「環境」「まちづくり」「公衆衛生」などの解決に向け、取り組んでいます。

（アカデミックコンソーシアム HP <http://www.yokohama-cu.ac.jp/gci/outline/>）

<海外加盟大学の概要>



マレーシア科学大学

1969年にマレーシアで2番目の国立大学として創立されました。ペナン島に位置し、現在、20,000人を超える学生を擁する総合大学です。



タマサート大学

1934年に創立され、タイの中で2番目に古い国立大学です。4つのキャンパスで30,000人を超える学生が勉強しています。



フィリピン大学

1908年に創立した、フィリピンを代表する国立総合大学です。国内に15キャンパスを擁し、50,000人を超える学生が勉強しています。



ベトナム国家大学ホーチミン市校

1995年に国立総合大学として、市内の複数の大学が統合して設立されました。その中のUniversity of Social Sciences and Humanitiesがベトナム国家大学の代表として参加しています。

2015.9.12(sat)

10:00-12:20

横浜市開港記念会館

入場無料

2015 YOKOHAMA

International
Academic
Consortium for
Sustainable
Cities

International Symposium

Global Partnership and
Local Initiatives
for
Sustainable
Cities

2015 横浜
アカデミックコンソーシアム
国際シンポジウム
持続可能な都市のための
地球的連携と
地域からの
発信



基調講演

寺島実郎氏 (多摩大学学長)

(仮題) 世界の都市問題を考える
～ 国際社会の潮流と未来～

報告

アジアにおける都市間連携と
各国大学からの報告(各校代表)

[国際シンポジウム申込み方法] 本学HPより申し込み 定員300名
<http://www.yokohama-cu.ac.jp/> (先着順)

前日
開催

国際学生フォーラム 2015.9.11(fri) 10:00-17:00
海外フィールドワーク成果発表会他

主催: 横浜市立大学 共催: 横浜市政策局
後援: アジア開発銀行(ADB)、IGES、JICA

お問い合わせ先: グローバル推進課
Tel: 045-787-8945 Fax: 045-787-8907



JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分(約700m)
みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分(約50m)

横浜市立大学は、2009年に国際的なアカデミックコンソーシアムを創設し、「環境」「まちづくり」「公衆衛生」をテーマとした都市の課題解決に向けてアジアを中心とした大学と連携し大学間ネットワークを構築してきました。このネットワークを活かした教育研究活動に取り組み、国際学生フォーラムではその成果を報告するとともに、国際シンポジウムでは横浜市等が展開する都市間連携を支える大学の役割等について考えます。

11

金 日

申込不要

国際学生フォーラム International Student Forum

第1部 海外フィールドワーク成果発表会 (横浜市立大学の学生による発表)

横浜市立大学では、多くの学生が海外フィールドワークに参加し、現地での課題等についてヒアリングやディスカッションを行い、多くの学びを得ています。今回はアカデミックコンソーシアムの「環境」「まちづくり」「公衆衛生」ユニットにおける海外フィールドワークを中心に成果を発表します。

第2部 持続可能な都市の実現に向けて (海外学生と横浜市立大学の学生による共同発表)

都市に係わる課題、持続可能なまちづくりに関連したテーマで学生が発表します。日本や海外での活動や、日頃の研究成果の発表等を行い、都市の問題について、海外の学生と日本の学生とが共同で報告を行います。

12

土 日

要申込

国際シンポジウム International Symposium

10:00-10:05

開会宣言 (横浜市立大学学長 窪田吉信)

10:05-10:10

開会挨拶 (横浜市)

10:10-11:10

基調講演 (寺島実郎氏 多摩大学学長)

11:10-11:20

(休憩)

11:20-12:20

アジアにおける都市間連携と各国大学からの報告

(地域貢献とグローバル化)〈予定〉

◆マレーシア科学大学

◆タマサート大学

◆フィリピン大学

◆ベトナム国家大学ホーチミン市校

◆ハサヌディン大学

12:20

閉会の辞

申込不要

分科会 Parallel Sessions

3つのユニット「環境」、「まちづくり」、「公衆衛生」に分かれ、各ユニットの研究者が、それぞれの分野の研究成果を発表します。

【ポスター展示】両日(11、12日)学生の海外フィールドワークのポスター展示や、研究者による発表、アカデミックコンソーシアム参加大学の展示等を行います。